

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式											
E142M009		被服学 (Clothing and textiles )																	
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員													
選択	2	3	教育学部			氏名 都甲 由紀子 E-mail togo-yukiko@oita-u.ac.jp 内線 7561													
授業の概要	1. 被服学 をふまえ、快適で豊かな衣生活を目指すために必要な被服学の知識をさらに深め、応用的な内容を説明できるようになる。 2. 被服製作の技能を高め、衣服を製作する。																		
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
目標1	被服学 をふまえて、文化的でかつ、健康的で快適な衣生活とはどのようなものか、さらに理解を深め説明できるようになる。																		
目標2	被服製作の技能を高め、衣服を製作し、完成させる。																		
目標3	被服製作実習にあたり、教えあいながら協力する。																		
目標4																			
目標5																			
目標6																			
目標7																			
目標8																			
目標9																			
目標10																			
授業の内容																			
1	若者の着装行動、ファッションとマーケティング																		
2	着装とライフステージ																		
3	衣服の製造とアパレル産業																		
4	衣服素材とその基本性能、仕上げ加工と高機能化																		
5	衣服素材の染色(染料)																		
6	衣服素材の染色(染色の科学)																		
7	衣服と体温調節、着心地																		
8	衣服に関する職業																		
9	被服の構成																		
10	被服製作実習応用1 採寸、原型製図、型紙製図																		
11	被服製作実習応用2 裁断、しるしつけ																		
12	被服製作実習応用3 縫製1																		
13	被服製作実習応用4 縫製2																		
14	被服製作実習応用5 仕上げ																		
15	被服学内容まとめ																		
ラーニング	A:知識の定着・確認	*ブレインストーミング	*調べ学修	工夫 その 他の	*アイズブレイク														
	B:意見の表現・交換	*プレゼンテーション	*レポート・ライティング		*動画の活用														
	C:応用志向	*ものづくり実習	*学生同士の相互評価		*LMS(Moodle)の活用														
	D:知識の活用・創造																		
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	テキストを読んで予習する(10h)。事前に提供された資料等に基づいて予習する(5h)。																	
	事後学修	授業中に課した課題に取り組む(8h)。授業中に指示をした実習に取り組む(12h)。																	
教科書	*山口庸子・生野晴美「新版衣生活論 持続可能な消費と生産」アイ・ケイ・コーポレーション(2019)																		
参考書	*松山容子「衣服製作の科学」建帛社(2001) *日本家政学会編「衣服の百科事典」丸善(2015) *牛腸ヒロミ他編「被服学事典」朝倉書店(2016)																		
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10							
	作品	30%																	
	作品レポート	30%																	
	レポート	20%																	
	Moodleのフォーラムでの発言	20%																	
	作品、レポート、Moodleでの発言を総合して評価する。																		
注意事項	被服学 の単位を取得した者のみ履修できる。																		
備考	実習の材料購入は、自己負担とする。 被服教育勉強会などの授業外の学修機会についても紹介する。																		
リンク																			
	URL																		

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の実務 経験	中学校・高等学校 家庭科教諭，高等学校 情報科教諭
実務経験を いかした教 育内容	中・高家庭科，高校情報科の指導経験や専門的知識・技能を活かし、学校教育現場の理解に基づく教育内容を扱う。